

# 図書館だより

No.22 (H30. No.11)

2018年2月1日

## ◇1月の学年別貸出冊数

学年	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
貸出冊数	360冊	211冊	129冊	82冊	37冊	3冊

総貸出冊数 822冊

## ◇開館スケジュール

原則、毎日開館ですが、2月は入試のため休館日が多いのでご注意ください。

休館日は< 2/3~6, 10~12, 18, 23~26 >です。

また、2日(金)と22日(木)は入試準備のため、13時で閉館します。

## ◇新着案内

今月は新着図書が84冊入りました。教室掲示の新着案内と、館内の新着本コーナーをご確認ください。

### 新着図書ピックアップ

#### ◎『SHOE DOG 靴にすべてを。』フィル・ナイト 東洋経済新報社 (589ナ)

世界的スポーツメーカー『ナイキ』創業者の自伝。ビジネス本という難しいイメージがありますが、まるで映画を観ているように飽きさせない一冊です。失敗や挫折の連続に何度も立ち向かう姿から、「天職」とは何かが見えてくるはず。実は日本企業との関わりが深いことにも驚きます。

#### ◎『だから、居場所がほしかった。』水谷竹秀 集英社 (334ミ)

『日本語ができれば誰でも務まる』という応募条件で、わざわざ海外にまで出掛けて日本語しか使用しないコールセンターで働く。日本で生きることに希望を持ってない非正規労働者たち。彼らは努力が足りなかったのだろうか。日本社会の一断面を映し出す鏡としての役割を担って今後も旅立つのか？

#### ◎『銀河鉄道の父』門井慶喜 講談社 (913.6カ)

第158回直木三十五賞受賞作。生涯夢を追い続けた宮沢賢治と、父でありすぎた父政次郎との対立と慈愛の月日を父目線で描いた作品です。改めて宮沢賢治の作品も読んでみてください。

## ◇お知らせ<<本屋大賞ノミネート作品を展示しています>>

本屋大賞は、新刊を扱う書店の書店員が「一番売りたい」本に投票して決まる文学賞です。15回目を迎えるこの賞に今年も10作品がノミネートされました。図書館ではノミネートされた作品を展示中です。大賞は10作品の中から4月に決定します。様々なジャンルの本があるので、どれが大賞になるのか予想しながら読み比べるのも楽しいかもしれません。ぜひ手に取って見て下さい。貸出中の本は予約することも出来ます！

### 高校生直木賞について

全国の参加校の高校生が選ぶ「直木賞」。直近一年間の候補作の中から、投票と議論によって「今年の1作」が選ばれます。本校は第3回から参加しており、今年も図書委員が候補作を選考しています。館内入口近くの展示コーナーで特集展示を行っていますので、ぜひご覧ください。

第157回(H29上半期)		第158回(H29下半期)	
8月の満ち欠け	佐藤正午	8 銀河鉄道の父	門井慶喜
会津執権の栄誉	佐藤巖太郎	くちなし	彩瀬まる
敵の名は、宮本武蔵	木下昌輝	彼方の友へ	伊吹有喜
あとは野となれ大和撫子	宮内悠介	火定	澤田瞳子
BUTTER	柚木麻子	ふたご	藤崎彩織